

## 「新約聖書神学概論」 4単位 木曜日 坂元俊郎

新約聖書をどう読むかは現代において、最も大切な課題の一つです。特に日本バプテスト連盟の教会は多様な理解の中で新約聖書を読んでいると考えられます。このクラスでは以下のテキストを参考にしつつ、聖書の読み方を神学的な方法を用いながら学んでいきたいと思えます。テキストは2冊を用います。一冊は「グッドニュース新約聖書」(キリスト教スタディーブック・シリーズ1. 福島 旭著、新教出版社)です。どなたでもわかりやすい学びをすることができるものです。もう一冊は「新約聖書への神学的入門」(NTD補遺2、E. シュバイツァー著、小原克博訳、日本基督教団出版局)です。これは神学的な専門書です。良き学びの時を願っています。

## 連続公開講座「バプテスト史」 4単位 金曜日 大西晴樹・加藤誠・内藤幹子・内藤淳一郎・飯島信

近年、財政窮迫によるバプテスト教会の閉鎖が続いている。近隣教会や連盟は支援の手を差し伸べられなかったのだろうか。バプテスト教会の「各個教会主義と協力伝道」とは何か。主の晩餐式をある教会はクローズド、別の教会はオープンとするが、バプテストの「教会契約主義」とどのように関わるのか。また「浸礼主義」とするバプテスト教会は、非浸礼の転入会者に対して、再バプテスマを求めるべきなのだろうか。日本基督教団は使徒信条を用いるが、バプテスト教会は用いない。「聖書のみ」とは、信条を認めないことなのだろうか。日本バプテスト連盟の設立母体であった南部バプテスト連盟は保守化し、原理主義化している。私たちは母教会の南部バプテスト連盟とこれからどう付き合うのか。そもそも私たちは何故「バプテスト」なのか。バプテスト教会の歴史と原則をまとめ直す時に来ているのではないか。

## 「礼拝学Ⅰ」(礼拝の基本) 4単位 金曜日 坂元幸子・藤井秀一・福永保昭

「キリスト者の礼拝—神学と実際」をテキストにして、キリスト教の礼拝についてさまざまな領域(神学、歴史、実践等)から、広く考察します。学生の方は、事前にその日のテキストを読んだ上でクラスに参加します。クラスの進め方は、講師による解説ののち、その日のテキストのポイント、疑問点の確認と、さらなる深掘りと展開を、講師と参加者同士のディスカッションによってすすめるスタイルとします。全15講義を3人の講師が5回ずつに分けて担当します。各講師へのレポート提出があります。

・坂元幸子:①「第一章礼拝とは何か」②「第二章聖書の基盤」③「第三章歴史的背景」④「第四章礼拝の神学」⑤「第五章礼拝の心理学、第七章共同体と礼拝」

・藤井秀一:①「第九章礼拝における音楽」②「第十章礼拝における祈り」③「第十一章礼拝における言葉」④「第一章三章子どもと礼拝」⑤「第一四章バプテスマと主の晩餐」

・福永保昭:①「第十五、十七章、礼拝におけるその他の行為、建築等」②「第十八章、教会暦およびその他の特別な日」③「第二十章、通過儀礼」④「第二十一章、二十二章、礼拝式順の計画1」⑤「第二十三章、礼拝式順の計画2」  
基本テキスト:「キリスト者の礼拝—神学と実際」(フランクリン M.セグラ、ランドル・ブラッドリー著、鳥山美恵 訳)

## 「合唱」 2単位 土曜日 菊地るみ子

合唱は神学校の学生、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、所属教会プログラムに出席し、教会音楽に関するレポートを提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

## 「教会音楽教育」(聖歌隊活動) 4単位 土曜日 岸本敬子

教会音楽の働きをベースに、聖歌隊の使命と目的、指導者(指揮者)の役割と指導法、リーダーとして必要な訓練などの学び。また、これから聖歌隊を組織する場合に必要な準備や、様々な状況の中での実際の練習方法についても学びます。

## 神学特講「冬期公開講座」 2単位 松見俊

・日 時:12月26日(木)~27日(金)開講予定(夏期公開講座に続くもの)

・テーマ:「新約聖書をどう読むかⅡ」(降誕物語、贖罪論、復活論等を組織神学はどう読むか)

・講 師:松見俊先生(東福岡教会協力牧師)



## 東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

## 2019年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本 科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\* 願書に必要事項を記入の上、9月6日(金)までに郵送してください。  
\* 本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。

【試験面接】 9月20日(金)午後6時30分  
\* 入学・聴講面接  
\* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】  
10月4日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会  
\* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・後期 10月7日(月)~2020年3月6日(金)  
<冬期休業 12月16日(月)~2020年1月4日(土)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます。)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分  
\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

【入学金】 ・本科 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円  
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円  
\* 後期は専攻科の入学はありません。

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円  
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円  
(\* 卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

【設備費】 一律5,000円(半年間、前期に10,000円支払い済みの方は不要)

【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり10,000円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。  
・卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。なお、後援会会員は公開講座に限り半額で受講できます。

## 2019 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(敬称略)
月	ギリシャ語中級	4	専攻科必修	小牧由香
月	牧会学	4	専攻科必修	内藤淳一郎・松村誠一・友納靖史
火	旧約聖書神学概論	4	共通選択	魯孝錬
火	組織神学 I	4	共通選択	木村一充・川口通治
木	宗教学	4	共通選択	矢嶋直規(国際基督教大学)
木	新約聖書神学概論	4	共通選択	坂元俊郎
金	連続公開講座「バプテスト史～私たちは何故バプテストであり続けるのか」	4	共通選択	大西晴樹・加藤誠・内藤幹子・内藤淳一郎・飯島信
金	礼拝学 I (礼拝の基本)	4	共通選択	坂元幸子・藤井秀一・福永保昭
土	合唱	2	音楽科必修	菊地るみ子
土	教会音楽教育(聖歌隊活動)	4	音楽本科必修	岸本敬子
	卒業論文(神学・教育専攻科)	6	専攻科必修	
冬期	冬期公開講座「新約聖書をどう読むか II」(降誕物語、贖罪論、復活論等を組織神学はどう読むか)	2	2019.12.26～27	松見俊(東福岡教会協力牧師)

- ☛ 「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。
- ☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

### 連続公開講座「信徒のためのバプテスト史」～私たちは何故バプテストなのか 毎週金曜日 18 時半～20 時半

開講日	テーマ	担当講師(敬称略)
1 10月11日	私たちは何故バプテストなのか	大西晴樹(東北学院大学学長)
2 10月18日	宗教改革とバプテスト	大西晴樹(東北学院大学学長)
3 10月25日	バプテストの源流、イギリス宗教改革	大西晴樹(東北学院大学学長)
4 11月1日	日本への伝道(戦前)	加藤誠(大井バプテスト教会牧師)
5 11月8日	バプテストの発展、アメリカ	大西晴樹(東北学院大学学長)
6 11月22日	日本での活動(戦後①)	加藤誠(大井バプテスト教会牧師)
7 11月29日	日本での活動(戦後②)	加藤誠(大井バプテスト教会牧師)
8 12月6日	バプテスト主義を考える 1～聖書の重視	内藤幹子(関東学院大学教員)
9 12月13日	バプテスト主義を考える 2～信仰者のバプテスマ	内藤幹子(関東学院大学教員)
10 12月20日	バプテスト主義を考える 3～政教分離	内藤幹子(関東学院大学教員)
11 1月10日	バプテスト主義を考える 4～万人祭司	内藤淳一郎(茗荷谷キリスト教会協力牧師)
12 1月17日	バプテスト主義を考える 5～会衆主義	内藤淳一郎(茗荷谷キリスト教会協力牧師)
13 1月24日	バプテスト主義を考える 6～各個教会主義	内藤淳一郎(茗荷谷キリスト教会協力牧師)
14 1月31日	バプテスト連盟結成 70 年を迎えて～これからのバプテスト	加藤誠(大井バプテスト教会牧師)
15 2月7日	バプテスト派と他教派	飯島信(日本基督教団立川教会牧師)

\* 2019.11.15 は連盟総会のため休講

## 2019 年度後期 課目案内

### 「ギリシャ語中級」 4単位 月曜日 小牧由香

中級では初級で学んだ教科書「エレメンツ」の未習の部分を進めながら、動詞の時制や法をさらに掘り下げ、ギリシャ語原典に触れる醍醐味を味わいたいと思います。文法を解析するソフトや WEB サイトを活用しながら、原文を読み進めることができるよう説明します。文法書:「エレメンツ」、推薦図書:新約ギリシャ語聖書「ネストレ・アーラント 第 28 版」(6,480 円)、「J」バイブル 1:2008」(10,580 円)、「J」バイブル 2:ギリシャ語版」(16,200 円)、無料の WEB サイト Bible Web App(英文)

### 「牧会学」 4単位 月曜日 友納靖史・内藤淳一郎・松村誠一

牧会学の基本理論を受けとめながら、会衆教会における牧師の役割、牧師と信徒の協働による牧会のあり方について具体的に考察する。

①友納靖史:「牧師はスケジュールをこなすため全力を傾ける。その結果、神の前に過ごし、聖書を開き、そして一人の人間とじっくり向かい合う時間を失う(テキストより)」。このジレンマと真摯に対峙し、神と人々、自分自身との関係性にバランスを取りつつどのように牧会を継続できるのか。この困難かつスリル溢れる牧会上の諸課題に取り組んだ E.H.ピーターソンの著書『牧会者の神学』を中心に学びを深める。彼が『牧会の三角法』と呼ぶ「祈りのわざ」「聖書を読むこと」「霊的導きの実践」に加え、「召命」「使命」などにも触れながら、健全な教会形成と人間形成のあり方を共に学び合いたい。全人的配慮(ケア)に基づく豊かな関わりと共に、境界線(バウンダリーズ)を設けて一線を引かれた主イエスの霊性を含めて学ぶ機会としたい。

②内藤淳一郎:『牧師—その神学と実践』第 4 章「牧師としての祭司」、第 7 章「カウンセラーとしての牧師」を読む。教会現場からのケースを取り上げ、牧会について考える。

③松村誠一:教会学校の働きを通しての伝道—具体的には「教会学校の目的と機能」を確認し、牧師が担う働きについて事例を通して学ぶ。またウイークデー・ミニストリーにおける牧師と信徒の働きについて事例を通して学ぶ。信仰の継承、高齢者(年長者との関わり)、心病む人々との関わりについて考察する(参考資料:「よい相談相手になるために」キリスト教カウンセリングセンター編・キリスト教新聞社)。

### 「旧約聖書神学概論」 4単位 火曜日 魯孝錬

旧約聖書神学とは、旧約聖書の中心を取り出そうとする研究と言えます。前半では、プリント資料から旧約聖書神学の歴史的な流れの概観と 21 世紀の 5 つのモデル考察し、今日において旧約聖書の中心を捉えることの難しさを理解します。後半では、旧約聖書の中心を「神の支配・救済」と提起するテキストを考察します。これらの矛盾を手掛かりに一人ひとりが旧約聖書の中心をどのように捉えていけばよいのかを一緒に考えていきます。テキスト:木田献一『旧約聖書の中心』(新教出版社、1989) & プリント資料、参考図書:『旧約聖書を学ぶ人のために』(並木浩一、荒井章三(編)、世界思想史、2012)

### 「組織神学 I」 4単位 火曜日 木村一充・川口通治

アリストアー・マクグラス著「キリスト教神学入門/第三部キリスト教神学」(p361-780)を二人の講師と共に読んでいく。15 回の授業を通して、キリスト教教理の基礎的な学びが可能になる。木村担当:9 章「神論(神義論、創造論、聖霊論)」、10 章「三位一体論」、11 章「キリスト論」、12 章「史的イエスと信仰のキリスト」、18 章「終末論」(共担)。川口担当:12 章「復活論」、13 章「救済論」、14 章「罪と救い」、15 章「教理の歴史」、16 章「聖餐と洗礼」、17 章「キリスト教と世界宗教」、18 章「終末論」(共担)。

### 「宗教学」 4単位 木曜日 矢嶋直規

キリスト教の展開は哲学と密接な関係を持っています。また西洋哲学の発展もキリスト教神学との関係を抜きには語ることができません。この講義では、古代哲学における宗教を振り返り、また宗教改革と宗教戦争から始まる近代という時代を哲学者がどうとらえたのかを考察したいと思います。とりわけ近代哲学の父と呼ばれるデカルトの神概念が、彼に続く主要な哲学者たちにどのように引き継がれたのかを考えます。特にソクラテス、プラトン、デカルト、スピノザ、ライプニッツ、ホッブズ、ロック、ヒューム、カンらの宗教論を取り上げる予定です。テキストは定めません。毎回プリントを配布し、参考文献を指示します。